

小児科

スタッフ紹介



副院長
診療部長
家原 知子
教授 (H2)
小児腫瘍学・
感染症

森本 昌史	教授 (S63)	小児神経学
秋岡 親司	教授 (H3)	小児免疫学
柴原 康通	教授 (H8)	発達障害・行動科学・小児腫瘍学
細井 創	特任教授 (S57)	小児腫瘍学
糸井 利幸	客員教授 (S56)	小児循環器・川崎病
西田 眞佐志	客員教授 (S58)	小児腎臓学
菱谷 隆	客員教授 (S62)	小児循環器・川崎病
西村 陽	客員教授 (H1)	小児神経学
小坂喜太郎	客員教授 (H2)	小児内分泌代謝学
土屋 邦彦	准教授 (H7)	小児腫瘍学・小児アレルギー学
大曾根真也	准教授 (H8)	小児血液学・小児アレルギー学
千代延友裕	病院准教授 (H10)	小児神経学・臨床遺伝学
池田 和幸	講師 (H10)	小児循環器・川崎病
柳生 茂希	講師 (H12)	小児腫瘍学
宮地 充	講師 (H13)	小児腫瘍学
長谷川 龍志	講師(学内) (H14)	新生児学・小児神経学
戸澤 雄紀	講師(学内) (H15)	小児神経学
大内 一孝	学内講師 (H16)	小児免疫学
吉田 秀樹	学内講師 (H16)	小児腫瘍・血液学
中川 由美	客員講師 (H2)	小児循環器・川崎病
中島 久和	特任講師 (H7)	小児内分泌代謝学
梶山 葉	助教 (H10)	小児循環器・川崎病

河井 容子	助教 (H13)	小児循環器・川崎病
橋口 加奈	助教 (H15)	新生児学
杉本 哲	助教 (H17)	小児内分泌代謝学
山下 哲史	助教 (H17)	小児神経学
瑞木 匡	助教 (H19)	新生児学・小児神経学
一瀬 栄佑	助教 (H20)	小児神経学・新生児学
金山 拓普	助教 (H20)	小児血液学
井上 聡	助教 (H23)	小児循環器・川崎病
浦田 眞代	助教 (H23)	小児血液学
大矢 暁	助教 (H24)	小児腎臓学・小児腫瘍学
松村 うつき	助教 (H26)	小児科一般・地域医療学
伊藤 育世	病院助教 (H17)	小児内分泌代謝学
西川 幸佑	病院助教 (H22)	小児循環器・川崎病
横田 侑紀	病院助教 (H28)	小児科一般
藤田 早紀	病院助教 (H28)	小児循環器学
若田 成弘	病院助教 (H30)	新生児学
森元 真梨子	併任助教 (H20)	小児アレルギー学
富田 晃正	助教 (H22)	小児腫瘍学
田中 誠治	助教 (H24)	小児血液学
杉立 有弥	助教 (H25)	小児腫瘍学
宮本 洋輔	助教 (H26)	小児神経学

私たちの業務

小児の一般疾患はもちろんのこと、腫瘍、血液、神経、代謝・内分泌、アレルギー、免疫膠原病、周産期診療部NICU（新生児集中治療部門）、循環器・川崎病、腎臓と、幅広く取り組んでいます。同時に各小児科専門医が「疾患だけを見る」ことのないよう、患者である小児を一番に考え、一人の人間として全人的にみることを心がけ、小児疾患の診断治療・健康管理を行っています。

◆ 腫瘍・血液グループ

小児がん拠点病院として、一般病院では診断や治療が難しい小児・思春期の固形腫瘍患者さんに対し、最適な診断・治療を提供できるよう努めています。小児外科、脳神経外科、整形外科、放射線科などと定期的にカンファレンスを行い、各診療科が連携した集学的治療を実践しています。また、陽子線治療を導入し、治療効果を維持しながら副作用の軽減を目指した治療にも取り組んでいます。全国共同治療研究では、神経芽腫、横紋筋肉腫を含む骨軟部腫瘍領域で主任研究者を務めており、これらに加え、ユーイング肉腫、腎芽腫、肝芽腫、希少腫瘍など幅広い小児固形腫瘍に対応しています。さらに、難治性腫瘍に対しては、新規治療開発を目的とした治験・臨床試験も実施しています。乳児血管腫に対する薬物療法にも対応しておりますので、ぜひご紹介ください。

◆ 神経グループ

神経外来では、てんかんなどの発作性疾患を中心に、脊髄性筋萎縮症・筋ジストロフィーなどの神経筋疾患や重症筋無力症・ギランバレー症候群などの神経免疫疾患の診断・治療、重症心身障児・者の慢性期管理などを行っています。診察は小児神経専門医およびてんかん専門医が行い、適切な診断と治療を心掛けております。また遺伝性疾患が疑われる患者さんは、必要場合は遺伝カウンセリングを受けていただいた後に、遺伝学的検査を行い、その結果の説明を分かりやすく丁寧にするよう心掛けております。

◆ 内分泌・代謝グループ

内分泌疾患としては、下垂体疾患（成長ホルモン分泌不全性低身長症、汎下垂体機能低下症）、成長障害を呈する疾患（ターナー症候群、軟骨無形成症）、甲状腺疾患（先天性甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症など）、副腎疾患（先天性副腎過形成、クッシング症候群など）、水・電解質代謝異常（尿崩症、SIADH〔抗利尿ホルモン不適合分泌症候群〕）、および思春期異常（早発症、遅発症）などを扱っています。

代謝疾患としては、小児肥満に対して内分泌疾患の除外診断を行い、栄養指導・運動指導を実施しています。また、小児糖尿病（1型糖尿病、2型糖尿病）の診療も行っています。先天代謝異常症としては、アミノ酸代謝異常症（フェニルケトン尿症）、糖代謝異常症（ガラクトース血症）、有機酸代謝異常症（プロピオン酸血症）、尿素サイクル異常症（OTC欠損症）、脂肪酸代謝異常症（VLCAD欠損症、MCAD欠損症など）、ムコ多糖症、ウィルソン病などの診療にあたっています。

◆ アレルギー・免疫膠原病グループ

小児アレルギー外来では、生活のQOL、成長・発達を考慮した診療を行っています。食物アレルギーについては、食物経口負荷試験に基づく必要最小限の食物除去を行うことで、過剰な食事制限を回避し、児や家族の不利益を最小限とし、栄養指導をあわせて行うことで成長にも配慮しています。耐性獲得の困難な児に対して経口免疫療法を実施しています。同時に気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎を適切に治療することで総合的に改善を図っています。アレルギー疾患の病態解明のための臨床研究、新たな知見に基づく新規治療薬の使用や治験を行っています。

免疫膠原病外来は、免疫および炎症に関わる全ての疾患を対象に、専門医による診療を行っています。これらの疾患は、全身の全ての臓器に障害を起こす可能性がありますので、当科の専門グループのみならず、他科あるいは地域の医療機関、学校や行政と連携した視野の広い診療を行っています。一方、専門医による使用が原則である生物学的製剤という、この10年間で最も革新的な治療薬を駆使した専門的かつ高度医療を進め、アンメットニーズに応える形で全人的医療を展開しています。

◆ 周産期診療部NICU（新生児集中治療部門）

染色体異常を含む先天異常や低出生体重児、新生児仮死、子宮内発育不全など、集中治療を必要とする新生児に対応するべく24時間体制をとっています。呼吸・循環・栄養管理など、医療の進歩とともに1,000g未満で出生した児の生存率も90%を超えています。また、中枢神経系疾患、消化管疾患、先天性心疾患などを有する場合、速やかに治療が行えるよう関連各科とも連携を密にしています。治療のみならずディベロップメンタルケア・カンガルケア等、児の健やかな成長と母児愛着形成を目的としたケアも同時にすすめています。NICU退院後は、外来で発達（運動面・知的面）、発育（体格のチェック）をみせていただき、その中で神経学的異常の早期発見に努め、京都府内の療育施設と連携をとりながら診療していきます。出生体重が1,500g未満の児には、学童期まで発達検査を行っています。

◆ 循環器・川崎病グループ

先天性心疾患では、内科部門と外科部門が連携して同時に治療に当たり、全国的にもトップクラスの治療成績を上げています。近畿圏のみならず全国、しばしば海外からも患者様を受け入れており、カテーテルインターベンション治療、非観血的三次元四次元画像診断法において全国有数の施設です。

また、子どもの後天性心疾患として最も多い川崎病についても全国有数の施設であり、急性期から遠隔期に至るまで幅広く診療しています。必要な治療や検査を計画的に提供するとともに、最新の情報もお伝えしています。

外来では心電図・心エコーを行い、初診の患者様でもその日のうちに診断し治療方針を決定しています。運動負荷テストや24時間心電図も独自に行っており、不整脈の診断と治療を行っています。立ちくらみや胸痛などの自律神経機能異常の診療も行っています。

◆ 腎臓グループ

腎炎、ネフローゼ症候群等の小児腎疾患に対し、腎生検を含めた診断治療を行っています。慢性腎不全患児に対しては持続透析・腹膜透析による管理や血液透析を行い、泌尿器科・腎臓内科との連携により腎移植を行っています。先天性腎尿路奇形を有する患児や尿路感染症の患児に対しても、小児泌尿器科との連携により外科的・内科的管理を行っています。

府立医大 小児科 医局 TEL 075-251-5571 FAX 075-252-1399

URL kpum-ped.com

救急対応 小児医療センター外来 TEL 075-251-5043 (外来時間帯)

救 急 外 来 TEL 075-251-5645・5646



実際の診療

疾患群	主な疾患(病名)	当科の対応
●腫瘍疾患	神経芽腫 横紋筋肉腫 Ewing/PNET腫瘍 悪性ラブドイド腫瘍 Wilms腫瘍 肝芽腫 骨肉腫 胚細胞腫瘍 血管腫 脳腫瘍	神経芽腫、横紋筋肉腫をはじめとする骨軟部腫瘍、腎芽腫、網膜芽腫、肝芽腫、その他の希少な小児がんの診療に対応しております。小児外科、脳神経外科、整形外科、放射線科などの外科系診療科と合同カンファレンス（カンサーボード）を行い、集学的に治療方針を検討しています。また、難治・再発症例に対する治療や新規治験にも取り組んでおり、セカンドオピニオンにも対応しております。長期フォローアップ外来も設置しており、他施設で治療を受けられた患者さんのご相談にも応じています。さらに、良性腫瘍の診断や乳児血管腫に対する薬物療法にも対応しておりますので、ご相談・ご紹介いただけますと幸いです。
●血液疾患	白血病 悪性リンパ腫 ランゲルハンス細胞性組織球症（LCH） 血球貪食症候群（HPS/HLH） 再生不良性貧血 先天性溶血性貧血 血小板減少症 血友病 免疫不全症 好中球減少症	小児造血器疾患全般を扱い、疾患に応じて化学療法・分子標的療法・免疫化学療法・免疫抑制療法・造血細胞移植・CAR-T細胞療法などを行い適切に治療いたします。また血友病などの凝固異常症の診療にも取り組んでいます。長期フォローアップにも力を入れて取り組んでおり、小児の血液疾患全般に対してセカンドオピニオンを積極的に受け入れています。
●神経疾患	てんかん、神経筋疾患、神経変性疾患、 神経系感染症、慢性頭痛など小児神経疾患全般	脳波検査、神経画像、脳血流シンチ、髄液検査、末梢神経伝導速度、筋生検、筋電図、誘発筋電図、テンシロンテストなど症例に応じた検査を外来・入院で行います 抗てんかん薬の内服指導、ACTH療法、ステロイド療法、免疫グロブリン療法など疾患に応じた治療を行います。
●代謝疾患	1型糖尿病、2型糖尿病 小児肥満 肥満合併症のチェック 先天代謝異常	外来や入院で精査・診断し、病型に応じてインスリン治療の導入や薬物治療を行います。 肥満外来で食事指導・運動指導を行います。 新生児マススクリーニング対象疾患の精密検査を行います。 治療用ミルクによる栄養療法、酵素補充治療を行います。
●内分泌疾患	成長ホルモン分泌不全性低身長症 甲状腺疾患 副腎疾患 尿崩症 思春期早発症 下垂体疾患 軟骨異常症	負荷試験や画像診断の精密検査を行います。 病態に応じたホルモン補充治療を行います。
●免疫・膠原病・リウマチ疾患	自己免疫疾患 リウマチ 膠原病 炎症性疾患	リウマチ専門医により免疫抑制療法・生物学的製剤を用いた分子標的療法を行います。また自己炎症症候群・炎症性腸疾患・原発性免疫不全症の診断・治療を行っています。
●アレルギー疾患	食物アレルギー アトピー性皮膚炎 気管支喘息 アレルギー性鼻炎・結膜炎・花粉症 高度専門的予防接種	食物経口負荷試験に基づく必要最小限の食物除去と食事指導と経口免疫療法の実施。発症予防。ステロイドや非ステロイド性抗炎症薬を用いた外用療法。重症例に対する全身治療（生物学的製剤、低分子化合物）、皮膚科専門医との連携。 予防治療および急性増悪（発作）対応。重症例に対する生物学的製剤によるコントロール。スギ花粉症・ダニアレルギーに対する舌下免疫療法 行政との連携による高リスク児に対する予防接種。
●NICUを退院した児	発育・発達フォローアップ	こまやかな診察と発達検査、育児指導を行っています。必要時、療育施設への紹介を行います。
●循環器疾患・川崎病	先天性心疾患 不整脈 心筋症・心筋炎 自律神経機能障害 川崎病	重症例には緊急対応し、PICUやNICUで治療を行います。先天性心疾患では小児心臓血管外科との連携により適切かつ素早い外科治療が可能です。 心臓カテーテル検査、3次元CT、運動負荷心電図、心臓電気生理学的検査などを駆使して、あらゆる小児循環器疾患の診断・治療に対応します。 急性期には大量ガンマグロブリン療法等の治療を行い、遠隔期の管理も行います。急性期・慢性期に係らず、治療方針についてのお問い合わせにも対応します。
●腎疾患	急性・慢性糸球体腎炎 ネフローゼ症候群 急性・慢性腎不全 先天性腎尿路異常・尿路感染症	必要に応じて腎生検を行い、診断確定後に治療方針を決定します。 初発の場合、入院治療とします。 救急対応が可能です。腹膜透析（CAPD）などの透析療法、腎移植を行います。 腎尿路形態・機能検査、レノグラム、排尿時膀胱造影を行い、小児泌尿器科と連携して治療に当たります。

外来診療担当医師予定表

令和8年7月1日現在

曜日	月		火		水		木		金	
	外来名	担当医師	外来名	担当医師	外来名	担当医師	外来名	担当医師	外来名	担当医師
午前	小児総合 1診 小児総合 2診 小児神経・遺伝(予約制) 〃 (第3・4週) 小児循環器(予約制) 〃 〃 (第2・4週) 乳児・発達(予約制)	家原知子 教授 大内一孝 講師 千代延友裕 病院准教授 戸澤雄紀 講師 池田和幸 講師 河井容子 医員 梶山 葉 医員 瑞木 匡 医員	小児総合 1診 小児総合 2診 小児神経(予約制) 〃 (第2・4週) 小児アレルギー(予約制) 〃 (第1・3・5週) 川崎病(予約制)(1・3・5週) 小児腎臓(予約制)(第1週) 〃 (予約制) 小児長期フォローアップ(予約制) 〃	宮地 充 講師 吉田秀樹 講師 森本昌史 教授 西村 陽 客員教授 土屋邦彦 准教授 森元真梨子 医員 池田和幸 講師 西田眞佐志 客員教授 大矢 暁 医員 土屋邦彦 准教授 宮地 充 講師	小児総合 1診 小児総合 2診 小児神経(予約制) 乳児血管腫 (予約制) 〃	池田和幸 講師 杉本 哲 医員 森本昌史 教授 宮地 充 講師 金山拓善 医員	小児総合 1診 小児総合 2診 小児代謝・内分泌(予約制) 代謝・肥満外来(予約制) 小児アレルギー(予約制) 小児循環器(予約制) 〃	大曾根貴也 准教授 長谷川龍志 講師 小坂憲太郎 客員教授 中島久和 特任講師 土屋邦彦 准教授 梶山 葉 医員 河井容子 医員 池田和幸 講師	小児総合 1診 小児総合 2診 乳児・発達(予約制) 〃 〃 (第1・3・5週) 〃 (2・4週) 胎児心エコー(予約制) 小児循環器(予約制) 小児アレルギー・皮膚科(予約制)	土屋邦彦 准教授 戸澤雄紀 講師 長谷川龍志 講師 橋口加名栄 医員 一瀬栄佑 医員 瑞木 匡 医員 中川由美 客員講師 河井容子 医員 土屋邦彦 准教授
午後	乳児・発達／ 発達検査(予約制) 小児循環器(予約制) 小児肥満 (第2・4週 予約制) 小児免疫・膠原病 (予約制) 〃 胎児心エコー 小児遺伝性腫瘍／ 小児腫瘍 (第2・4週 予約制)	長谷川龍志 講師 河井容子 医員 杉本 哲 医員 大内一孝 講師 秋岡親司 教授 菱谷 隆 客員教授 富田晃正 医員	1ヶ月健診(予約制) 小児高度専門的予防 接種(第4週 予約制) 小児頭痛外来 (第2・4週 予約制) 小児アレルギー／ア レルギー・地域連携(予約制) 小児代謝・内分泌 (予約制) 小児腎臓(予約制) (第1・2・4・5週) 小児循環器(予約制)	担当医 土屋邦彦 准教授 西村 陽 客員教授 土屋邦彦 准教授 森元真梨子 医員 杉本 哲 医員 西田眞佐志 客員教授 大矢 暁 医員 梶山 葉 医員	小児長期フォロー アップ(予約制)／ 小児腫瘍(予約制) 小児腫瘍(予約制) 〃 小児血液・移植後フォ ロアップ(予約制)／小児血液 長期フォローアップ(予約制) 小児化学療法(予約制) 小児免疫・膠原病 (予約制) 〃 小児神経(予約制) 小児循環器(予約制)	細井 創 特任教授 宮地 充 講師 金山拓善 医員 大曾根貴也 准教授 吉田秀樹 講師 吉田秀樹 講師 秋岡親司 教授 大内一孝 講師 森本昌史 教授 池田 和幸 講師	小児長期フォロー アップ(予約制)／ 小児腫瘍(予約制) (第1・4・5週) 小児長期フォロー アップ(予約制) 小児腫瘍(予約制) 〃 小児血液・移植後フォ ロアップ(予約制)／小児血液 長期フォローアップ(予約制) 〃 〃 小児循環器(予約制) 〃 小児代謝・内分泌 (予約制)(第2・4週)	家原知子 教授 土屋邦彦 准教授 宮地 充 講師 金山拓善 医員 大曾根貴也 准教授 吉田秀樹 講師 梶山 葉 医員 河井容子 医員 池田和幸 講師 河辺泰宏 医員	小児神経(予約制)	戸澤雄紀 講師